

## 第 3 回ストック専門委員会の審議状況について

- 1 日時 平成 21 年 9 月 15 日（火）10 時～12 時
- 2 出席者 高木委員長、井出専門委員、中村臨時委員、野村委員、宮川専門委員ほか
- 3 議事
  - ・ 新たな資本統計の開発・整備への取り組みについて
  - ・ 個別案件への取り組みについて
- 4 議事要旨
  - (1) 新たな資本統計の開発・整備への取り組みについて（PIM（恒久棚卸法）の導入への対応等）

内閣府から、基本的な方向性（生産資産表等フレームワークの構築、分類体系の見直し等）など検討状況の報告があり、引き続き検討を行うこととされた。主な意見は以下のとおり。

PIM による推計が遡及されない前年との間の断層への対応については、93SNA の導入時に、各国で改定した経験が参考になるのではないかと。
  - (2) 個別案件への取り組みについて

内閣府から、自社開発ソフトウェア及び育成資産の推計方法等について、すでに了承された推計方法に沿ったその後の検討状況の報告があった。主な意見は以下のとおり。

育成資産については、現状の推計に問題があるが、国連のマニュアルに明示されず、国際的にもほとんど検討されていないこともあり、今般検討に加え、物的ストックからのアプローチも検討が必要ではないかと。

内閣府から、08SNA の課題のうち、「項目番号 20 土地改良」の検討状況等について報告があった。主な意見は以下のとおり。

土地改良分を分離すべきかについては問題がある、というのが共通認識と思う。